

議 事 録

公開・一部公開・非公開					部 分 非公開 理 由	
					保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
					作成日	令和3年2月9日
部長	課長	保育係長	子育て支援係長	係員		記録者所属 子育て支援課子育て支援係 職・氏名 主査 宮澤 宏美 印

会議等の名称	令和2年度第1回子育て支援審議会	開催日時	令和3年2月9日（火） 午後3時～午後5時
		場 所	本庁舎2階全員協議会室
主催者（事務局）	子育て支援課子育て支援係	司会者	司会進行：岩下課長 議事進行：檜原会長
出席者	【委員】小林由美委員、土屋千夏委員、檜原みち代会長、岡田和子委員、宮坂美代子委員、小池道子委員、坂田朱音委員、竹田恵子委員、古川智恵委員、関旦子委員、月岡栄子委員、只木とも子委員、尾形裕子委員、土屋忠寿委員、小林利佳委員（職務代理） 【事務局】健康福祉部長中條万里子、子育て支援課長岩下由美、保健係長武井淳一、福祉推進係長安原武志、福祉援護係出澤一則副主幹、青少年教育係長増田賢一郎、北御牧保育園園長菊地美和子、保育係長下條武志、子育て支援係長高野美奈、子育て支援係主査宮澤宏美（傍聴者あり）		
欠席者	本山幸則委員		

議 題	(議題)		(配布資料)
	・ 第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ・ 小規模保育事業について ・ 子ども家庭総合支援拠点事業について		別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を箇条書き)	・ 第2期東御市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について承認。 ・ 小規模保育事業について、意見聴取。 ・ 子ども家庭総合支援拠点事業について第2期東御市子ども・子育て支援事業計画への追加記載について、承認。		
次回への 検討事項	なし		
次回開催	(日時)	未定	(場所) 未定
討議内容及び 経過	(発言者名)	(発言内容)	
委嘱書交付		委嘱書交付（新任委員）	
3 会長選任		会長 檜原みち代委員（民生児童委員） 職務代理 小林利佳 委員（教育委員）	
4 協議事項 (1) 第2期東御市子ども・子育て支援事業の進捗状況について	事務局	資料1 第2期東御市子ども・子育て支援事業の進捗状況について事務局より説明	
	委員	21ページ 実務者会議と個別会議について、もう少し詳しくお聞きしたい。	
	(事務局) 福祉援護係	実務者会議とは、全ての案件で確認・方針決定する会議であり、調整機関である福祉課が主体となって佐久児童相談所、教育委員会、子育て支援課、保健師、場合によっては警察を呼んで会議を開催します。今年度については、年3回8月11月2月開催、全案件に対して、ご意見をいただき、対応の調整などを行いました。それに対し個別ケース検討会議は、今年度は年8回ほど開催しています。個々のケースに対し、関係者により必要に応じ開催しています。	

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
4（1）	委員	個別ケースが会議8回となっていますが、事例は何件位ありますか。
	（事務局） 福祉援護係	個別検討会議は1件ずつやっております。年8回ですので8ケースということでございます。年度によって前後します。
	委員	3ページ、妊婦健診、乳幼児全戸訪問事業と本年度の件数が随分少ないと思いますが、件数について教えてください。
	（事務局） 保健係	令和2年度、妊婦さんの数が例年より減っておりまして、現在のところ170弱位の届け出かと思われま。年間約180件を見ております。
	委員	妊婦さんが少ないと理解してよろしいんですか。今の理由で（5）養育支援訪問事業も少なくなったと考えてよろしいのでしょうか。
	（事務局） 子育て支援係	コロナも関係してるかもしれませんが、特にヘルパー派遣する事業について、去年の対象者も6世帯のうち、半分は産後の家事等のお手伝いをお願いした世帯です。少しお子さんが大きくなってこちらのサービスでは利用しなくなった、別のサービスを利用しているというのが理由です。
	委員	次に子育て短期支援事業について、令和元年度から2年度にかけて利用者が増えていますが何か考えられることございますか。
	（事務局） 子育て支援係	事業自体の周知が広がったというのも1つの原因かと思えます。
	委員	国による虐待の報告が、今年度は10万件近くになりました。虐待は私たちには報告義務があります。当初は2万6000位から始まったと思いますが、今年度10万件超したということは、当市においても、多分同じような傾向が出てくるのかと思います。特にこのコロナ禍中において、お子さんがずっと家にいたり、仕事がなく親御さんもすごく不安にいたりとか、なかなか人に助けを求められない、そういうような事も色々影響するのかなと思いますけどその辺のところはどう対応していこうと考えていますか。
	（事務局） 子育て支援係	こちらは福祉と連絡を密にとっておりますので、連携しながら、家庭の状況に応じた支援を行っていききたいと思います。
	委員	私達主任児童委員という立場なのですが、本年度、小学校、保育園、児童館児童クラブ等へも行けない中ですが、主任児童委員もどんどん利用していただきたいと思っております。
	委員	17ページ②「放課後遊び塾」について、これは児童クラブか児童館へ直接行って交流会を開いている事でしょうか。詳細について教えてください。
	（事務局） 青少年教育係	放課後遊び塾についてですが、募集は学校へお願いしております。申し込みの少ない場合は、児童館や児童クラブに声をかけて、一緒に遊ぶ体験をもらったこともあります。また、民生児童委員さんに情報提供できるような体制を考えていきたいと思っております。
	委員	放課後遊び塾の説明ですが、これは教育委員会で実施した事業で、4年生以上を対象に、東御清翔の高校生のお兄さん、お姉さん、ボランティアクラブのお子さんも協力していただき、グラウンドで体を使った遊びを始めたんですが、今年度はコロナがあって開催できませんでした。 4ページ（6）の子育て短期支援事業について、保護者の疾病等の理由について教えてください。虐待は入っていますか？
	（事務局） 子育て支援係	対象児童は、親の疾病等または妊娠中、出産後間がない、また同居の親族を看護している、また育児疲れ、出張のような理由で利用される方がいらっしゃいます。虐待は入っておりません。虐待に繋がらないうちに、こちらを利用していただき、家庭での状況を改善することが目的になります。
	委員	私は農家ですので、保育園はお休みはせず預けさせていただけたことはすごく感謝しております。保育園をお休みさせたいという気持ちもあったんですけど、自分が働かなければ子どもを育てていかれないので、虐待の話もありましたけど、保育園がなければさっぱり詰まって来ることも多々ありました。 うちは家族経営で、売り上げが3分の1ほどになってしまい、子どもに対しての余裕もなくなってしまう事もあり、保育園に預けられるのが一番助かった部分でした。
	委員	私は公立保育園に預けていますが、私は夫婦2人で育ててるので、保育園の先生方も工夫してくださり、安心して保育園に預けられたことはとても感謝しています。 保育園の行事が、中止や延期など楽しみもなくなっていたのですが、RIDE'Nバスに乗って、ツルヤに買い物に行くなどの良い経験ができて良かったと思っています。

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
4（1）	委員	コロナの時、幼稚園も休園になってしまい、最初は公園に遊びに行っていたんですけど、公園も途中で利用ができなくなってしまい、そうすると家の中だけになり、親も子どももストレスがたまってしまいました。 休園をあけてから、幼稚園の先生方も本当に子どもや保護者のことを考えてくださり、色々行事が無いものもありましたが、子どもたちもお友達に会えて本当に嬉しそうで、外で思い切り遊べたり、お友達と交流できることは本当にありがたいことだと思いました。 また下の子が支援センターを利用しておりますが、センターも予約制になったりしていますが、工夫した対応をしてくださって、感謝しています。
(2) 小規模保育事業所について	(事務局) 保育係	資料2小規模保育事業所について おひさまこども園につきましては現在乙女平区内に、第1おひさまと第2おひさまの2つの施設がございますが、ここに新たに施設が1つ増える内容。 認可理由は、全体的な流れとして、子どもの総数は減っている状況。3歳未満児は今後も同水準または同水準以上が見込まれるということで、今回この未満児保育の充実が見込まれるということもあり、市といたしまして条件を満たしているか確認を含めて、新規申請を認めたい方向です。
		委員からの異議なし。
(3) 子ども家庭総合支援拠点事業について	子育て支援課長	資料3 子ども家庭総合支援拠点事業の概要について 事業の目的：出生から、概ね18歳までのライフステージにおいて、子どもの自立を目指した支援と、家庭の包括的継続的な支援を実施する。 設置場所は、子育て支援課の中に拠点を置き令和4年度から運用開始予定。 第2期子ども・子育て支援事業計画に追加記載をして、明確に取り組みを示していきたい。計画書P51（7）子ども家庭総合支援拠点の設置、子ども家庭支援室（仮称）
	委員	一番最後の子ども家庭総合支援拠点事業ですが、例えば飯田市は、子ども課という部署に一括して0歳から18歳までの一人一人のカルテというか、そういうものができると聞いています。民生児童委員が福祉課や保健課とお話していただく中で、教育委員会ともお話をさせていただきたいことを要望してるんですが、これを是非しっかりとした体制にしたいと思っています。
	海野保育園園長	子育ての生活の形態が、多様化というか多岐に渡っていると感じました。母子家庭で、お母さんの体調が優れず、そしてコロナの状況で仕事が減っていることで、家計的に大変な家庭への物資の支援があるという話がありまして、どうですかと聞いてみるんですけど、“いいえ大丈夫です”と答えがあり、保育園に言いたくないような心理があるのかとか、微妙な心理を考えると、すごく難しさを感じているところです。 子ども家庭総合支援拠点事業を機会に充実していただいて、専門の方、訓練を積んだ方と多角的に見てくことが本当に必要ではないかということを常々考えております。また、こういうことが起きたときに、まずどの部署のどなたにお聞きしたらいいのか迷うところがありますので、ぜひ連携をとっていききたいと思いますので、よろしく願いします。
	くるみ幼稚園園長	コロナで大変な1年で、行事もほとんどできなくて、一番かわいそうな子どもたちだなと思いました。また、4月から認定こども園になりますので、新しいくるみ幼稚園を作りたいなと考えています。1日も早くコロナが収束して欲しいというのが願いです。
	委員	今は私立の児童クラブのお手伝いについていますが、自閉症のお子さんがいまして、学校の様子が私たちには全くわからず、みんな指導に苦勞しております。学校などと連携が取れるようになるとすごくありがたいと思いますので、是非ともしっかりした連携体制を取れるようにして欲しいと思います。
	委員	支援センターとかに行かない、いけない人を心配に思っています。支援を求めることは恥ずかしくないよ、当然のことですよということが周知され、支援されることから避けない感じになってもらえればいいかなと思います。
	委員	ちょうど自分の子どもが保育園、小学校中学の頃、私は仕事が面白くて、毎日遅く帰っていました。そして子どもが20歳になった時に突然、「うちにお父さんいなかった」、と言われたことにとてもショックを受けることがありました。 父親の関わりという部分を、もう少し考えていかなきゃいけないのかなということを、改めて自分で感じた時がありました。この計画の中も父親の関わりというものをもう少し具体的に、出していかればいいのかと思います。 それから、地域での見守りという中で、地域での人間関係が希薄になりつつある場所もあるわけで、地域の中で子どもたちと触れ合うことによって子どもたちの、特にこの虐待の発見に繋がっていくのかなというようなことも感じてます。
閉会		